

ハ掌手注目トス其法右手ヲ學フ
右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉
屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

改正候條此旨相達候事

陸軍卿大山 嘉

屬チ無務主藏運輸ノ三掛ニ分ナ
ニ謀僚砲兵科士官上等監護各一
護一名ナ置キ仍ホ各掛ニ書記下
添「掛」ニ改ム

右側ニ掌ヲ掌ヲ外面ニ向ケ肘ヲ
行フヘシ

施設開及セ賓館等ノフハ詳細ニ記載ス可シ
右之通相應無御座候也

年號月日

身元引受人 姓 名 印

(以下次號)

○明治十年六全國傳染病患者週報自三月廿五日至五月卅一日第十三回

病 査 名 新 患 者 無

新舊患者死亡

虎 刺 刺 新 一九八

八二

膈室扶私赤 痘 實布理里亞

一二

黃疹室扶私痘 寶

二七

合計四七

九

二九六

一二四

虎刺刺死亡全數ヘ愛媛縣コシテ前々届漏レノ數ニ係ル

隔室扶私患者最モ多キハ山口縣コマテ三月四日ヨリ全十日ニ至ル一週間二十一人ナリ

痘瘡患者ハ新潟熊本福岡ノ三縣ニ係リ新潟縣ハ三月十一日ヨリ全十七日ニ至ル一週間五人熊本縣ハ同週間二人福岡縣ハ同週間四十人ニシテ漸々傳播ノ兆アリトノ報アリ

○正誤 太政官第十八號地方巡察條規第五條ノ末得ノ下

スノ字ヲ誤脱ス

時事・新報

全國一般ノ不景氣商況ノ變機如何

昨日ノ社説ニ本年ノ生糸商賣ハ資本缺乏ノ爲ニ官フ可ヲ

ナル可シトノ旨ヲ述ベタレニ實本缺乏ノ爲ニ事ノ舉フザル

ハ特ニ生糸ノニコ非ス明治十四五年ノ際ヨリ今日ニ至ル

マア凡ソ一年有半ノ其間ニ百般ノ商賣工業皆然ラザルハ

ナニ之ヲ名ツケテ商況ノ不景氣ト稱ス抑モ此不景氣ハ明

治十年西南戰爭ノ爲ニ一時全國ノ資本ヲ異常ニ運動セシ

ナニ價ハシガ爲ニトア二千七百万圓ノ紙幣ヲ發行ヘ又同時

ニ都萬國立銀行ノ發行紙幣三千五百万圓ノ通貨モ漸ク其

數を過フスルノ時節ニ至リ之ヲ捨ルモ既ニ自カラ活潑ナ

テ以テス工業與工場ヲ得ズ、商賣盛ナフザレテ附ス、物

ヲ製シテ賣レザルハナシ、物ヲ仕入レテ價ヲ定メハルヘ

ナシ、蓋シ物價ノ騰貴ニ非ス紙幣價ノ下落ナレハ其名ハ

タルナ見テ實ニ富有ト爲リ又富有ノ思テ爲ニテ容易ニ得

高品ヲ消費シ、容易ニ買ナ者アレハ容易ニ仕入ル、商人

アレ、空島ニ仕入ル、商人アレハ空島ニ製作スル職工ア

リ、農工商兼互ニ板賣、瓦ニ板賣ヒ、貿アリアレ買フナ又

テ、貿易情勢甚大ナガリ空島ノ外國人之ヲ貿易ナシテ、其

標シ天下大本萬物莫不如此而外國人之貿易ナシテ、其

年ヨリ十四年春ノ季ニ至リアシテ貿易ナシテ、其

テ伊勢參宮スルニ舊時ノ莞篠チ脱シテ或金(トシカツ)銀(シロヒメ)等ノ

土產トア京坂東京ノ吳版店ニ精羅ナ買ヒ、僻色樂村モ若居ニ興行シ相撲チ企ル等田舎ニ無数ノ京ナ出現スレハ極ニ

テ明日ハ何々様ノ集會ナリ、何ノ樂器、管ノ夜會トア種ニ

又公ニ奢侈虛飾チ極メテ天上樂國ノ夢ア夢ミクルヘ世人ノ

ノ記念スル所ナラン然ルニ國民實際ノ實力、誠ナ麗レテ

依然タル舊日本アルノニコソテ素ヨリ繁盛樂國ニ非ヤ其

一時ニ狂シタル趣テ形容スレバ天稟酒量ナキ人ガ即席ノ

一量ナ過ナシ、商家ヘ仕入ル、ニ量ナ過ブシ、工業家ハ製

スルコ量ナ過ゴシタルモノロシテ量ナ過ゴシテ飲食スル

片ハ必ズ嗚氣ナ發ス、農工商モ亦過量ノ賣賣ニ嗚氣ナ發

シテ酒席ヲ醉セントシタルハ明治十四五年ノ際ナリ酒氣

漸ク醒メテ漸ク自カラ省レバ消費者ニ餘力ナシ四

テ商店ニ仕入品ノ餘ルアリ、工場ニ原品ハ山ナ成シテ製

作品ノ注文ハ絶ヘテ跡ナシ、負債促サレテ返済ノ道ナク

抵當沒入スルセ其成分ニ窮ス、工商漸ク手ヲ縮メマクシ

テ之ヲ縮ルガ爲ニ損シ、金主漸ク手ヲ縮メントマテ之を

縮ルガ爲ニ貸金ノ幾分ナ見切リ、爾來ハ必ス抵當ト云ル

爾來ハ必ス現金取引ト云ル抵當モ必ス其種類ナ押ヒ現金

モ必ス目前ノ引替ナ約シ信用地ナ拂フテ些少ノ猶豫ナ許

サズ商工ノ道日ニ蹙マテザルナ得ザルナ・米價漸ク下落

シテ農家ハ地租ノ金ナ納ルニセ延支ヘ農園ニ力役シテ銀

テ得ントスルセ之ヲ使役スル者ナシ音ニ快樂ノ爲ニ銀ナ

キノミナラズ現ニ必要ノ肥料ナ買フノ手當モナクシテ銀

テ得ントスルセ之ヲ使役スル者ナシ音ニ快樂ノ爲ニ銀ナ

レテ其運轉自由ナルナ得ヌテ賣フア直ナシテ銀ナシテ

忍ハザル・非ザレニ或ハ抵當ニ入レ或ハ余主ニ銀ナシテ銀

ノ如キハ肥料中ニモ最モ屈強ノ品ニシテ之ナ所有スナ

シテ農業ハ肥料中ニモ最モ屈強ノ品ニシテ之ナ所有スナ

テ今日ノ時價トテ比較大レハ之ヲ手離ス・忍ヒ大、之大

シテ農業ハ肥料中ニモ最モ屈強ノ品ニシテ之ナ所有スナ

テ今日ノ時價トテ比較大レハ之ヲ手離ス・忍ヒ大、之大

シテ農業ハ肥料中ニモ最モ屈強ノ品ニシテ之ナ所有スナ

テ今日ノ時價トテ比較大レハ之ヲ手離ス・忍ヒ大、之大

シテ農業ハ肥料中ニモ最モ屈強ノ品ニシテ之ナ所有スナ

テ今日ノ時價トテ比較大レハ之ヲ手離ス・忍ヒ大、之大

シテ農業ハ肥料中ニモ最モ屈強ノ品ニシテ之ナ所有スナ

即ナ今月今日商賈ノ實況

ノ醉狂ノ其宿醒ハ十五六年ニ持越シテ頭痛外傷ムモ

ノト云フ可シ

(以下次號)

雜報

○行啓 嘉辰吉ハ今十二日午前十一時赤坂坂上御殿にて魚鷹門にて通語官へ行啓在らせられ御苑内に於て魚鷹の御遊覽あるとし最も雨天あれを御延引と仰せ出されたるよしは承る

○神社大祭 來る十五日乙宮幣大社山城國加茂神社大祭又付宮内神饌幣帛料等を通獻せられ當日御代拜は北垣京都府知事へ仰付られたるよし

○經宴 我國駐劄の英國公使バークス氏が昨十一日午后より我大臣參議及び各國公使を越町一丁目の公使館へ招待せられ國陸の經宴を開かれたり

○前半君 御國特命全權公使なる同君がハ本月八日佛國マルセールヌ若せられ一回中又回港出帆の郵船より搭して歸朝すべき旨其筋へ電報あり由

○ゴルナヤコフ親王 近頃露西亞ゴルナヤコフ親王ハ不豫あるは或る見賦タ恐れ多くも毒殺し參らせんと企てふるふよりと一般の取沙汰あるケ果せる哉

親王ハ烈しき吐瀉を爲されしむ其中に毒素のありしを察見しよりと察するふ例ハ虛無黨の所爲であるべきか身命よりかりし高運と申すべし

○佛國大統領 此程佛國大統領グレヴィ氏は醉職を思ひ立ちたりとの風説ある由あるケ目下佛國より

新内閣の微弱なるふ際し激進黨ハ絶へず政府を攻撃し加之新聞若しくハ演説を以て政黨を非難するもの

れり國は無政府黨の如たハ其集會よりて種々恐嚇に

有様なれば皆の風説も全くの虚説にはあるまじと云ふ

○賞賜 昨日も華族正二位正三司質德君を始め百卅七名より我が鹿児島逆徒征討の際軍團病院等へ金圓并銀圓其外物々の品を寄贈せらるし其賞とし

此の如日本本邦賞賛等を賜へりたり

○高等法院 聞院又於ては愈近日公判を開くるゝ旨

此程検察官を檢事堀田正忠君へ命ぜられしと又犯

罪の中村野崎中氏が辨護人ハ鳩山和夫、角田興平の

氏、依頼程度よしと同人より請願せしム多分ハ聞

届する事無といふ

○參事院協議 長くも聖上より衛生及び道路橋梁修築等の義と付此程山形參事院議長へ御内諭在させし趣も之あると付全議長は先般九州地方巡視の節談

件よりする實地見聞の事柄を條列し其方案等同院を

於て協議せざる所であるよし

○土木工費 内務省の土木局にて取扱ひる、土木工費ふ係る會計の儀ハ昨年同省會計局より同局へ引渡されしものあるダ右ハ何か不都合の處あるとかみて

来る七月即ち十六年度より右會計へ還付に依り會計局の主管と復せらるゝ事と内決される由

○繰替金 樺山書記總監お特別監査部長以下管外出張の旅費として金壹万圓別途繰替渡し方みれり度

尤年末より上納致すべく旨其筋へ稟請されし處附

○大政官金五千圓繰替下渡之儀を指令ありたり

○殖民移住 自今外國へ殖民移住と開拓する條約の義

を昨今其筋にて取調べに着手されより是は既て世上と謂ふる布哇國へ我國より殖民移住する義と付てめ

○殖民地事あらんといふ

○鐵道局 東京鐵道局は是迄工部省中置られし

事務の都合より度重南坂町井上鐵道長の官邸内へ移され同所に於て事務を取扱ひるゝよし

○陸軍黨報 東京鎮台軍法會議所第一軍管官庫の定額金を本年より増額せらるゝ事より右

千九百七十五圓(俸給)二千五十六圓(雜費)七百四十

九圓舟六錢(廳費)を下付せられたり○近衛步兵第二

聯隊第二大隊長近藤少佐が昨日山學校教官を命

せらる○大坂鎮台第九聯隊第一大隊長石本少佐は

該長を免せられ更ふ陸軍省報告課長を命ぜられたり

此等の稱呼を姓の下に加へて継ぐ例へ
上監(シャンカム)國五、大監(タイカム)正二
下從二品以上、令監(ユオシガム)正四品以下從九品
品以上、進賜(ナリ)正四品以下從九品
ソバーン無價無宮の者
其姓と字或い號を併稱するの三人の名
は斯處をあせり貴様貴殿あと云ふ所に
と稱す此稱呼ハ人身より從て一樣あらず
監數遍賜あと云ふダ如し然れども此等の
しも人の身分の貴賤を判するふ足らぞ
より我輩は住家を普請するがため大工業
るが此太工の一人ハ嘉善太夫正三品の
々々とハ不稱せらる又其指圖役に小督
らるハ皆は通政太夫從三品のよ
然るよ此普請の總監は位九品より進賜
等に向て横柄より指圖を爲し更に伍階の上
あるもの、如玄甚ざ奇あり但し朝鮮より
位を貰るよと父は褒美として有名無實
おどある也ふ思ひも寄らぬ人よ高金高金
し○京城内塔洞の一民家庭中に石塔あん
形ハ我國の五輪の石塔の如し聞く所不
さるもの、如玄甚ざ奇あり但し朝鮮より
をして和を結び爾後婚姻を通せることが
某の長女魯國大公主ある者朝鮮王小妹
國支那より持來りるも、中元朝の例
此塔洞の外又も元も持來りたる寺及び石
ハ元の大祖大寧して朝鮮又人寇し全く購
を存せり其一重と日本東京麻布金子寅吉
莊よゐるよ、閔泳翌允吉洞の二氏ハ東京
金子氏よ抵て實見しよりと云へり朝鮮
重慶慶慶大門タ朝鮮入寇の時に粉失ひた
結果して然らば征韓の軍へ等ハ何のため
捕物を持歸りたるう分らを或ハ嫁人の持
考證を俟つ

○土地問題黨の會議 本國の土地問題黨
を聞くとする由あるケ愛蘭の讀國者
主は百八十六番號なりと○米國帆走船ト
ライト號(船主外十五人乗組)に
月八日同國桑港と出航せしム本年二月四